

みずほCustomer Desk Report 2022/09/21号 (As of 2022/09/20)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	143.28
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	143.15	1.0033	143.55	1.1450	0.6733
SYD-NY High	143.92	1.0051	144.02	1.1460	0.6747
SYD-NY Low	142.94	0.9956	143.05	1.1358	0.6677
NY 5:00 PM	143.71	0.9969	143.37	1.1381	0.6691
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	30,706.23	▲ 313.45	日本2年債	▲0.0700%	0.0000%
NASDAQ	11,425.05	▲ 109.97	日本10年債	0.2500%	0.0000%
S&P	3,855.93	▲ 43.96	米国2年債	3.9697%	0.0254%
日経平均	27,688.42	120.77	米国5年債	3.7500%	0.0615%
TOPIX	1,947.27	8.71	米国10年債	3.5670%	0.0745%
ソコ日経先物	27,245.00	▲ 260.00	独10年債	1.9355%	0.1490%
ロンドンFT	7,192.66	▲ 44.02	英10年債	3.2895%	0.1595%
DAX	12,670.83	▲ 132.41	豪10年債	3.6540%	▲0.0450%
ハンセン指数	18,781.42	215.45	USDJPY 1M Vol	13.01%	▲0.37%
上海総合	3,122.41	6.80	USDJPY 3M Vol	12.43%	▲0.07%
NY金	1,671.10	▲ 7.10	USDJPY 6M Vol	11.68%	▲0.07%
WTI	83.94	▲ 1.42	USDJPY 1M 25RR	▲1.10%	Yen Call Over
CRB指数	279.54	▲ 0.24	EURJPY 3M Vol	12.86%	▲0.02%
ドルインデックス	110.22	0.48	EURJPY 6M Vol	12.51%	▲0.10%

【昨日の指標等】

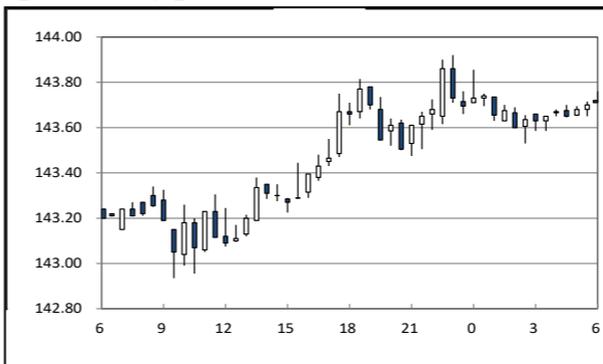
Date	Time	Event	結果	予想
9月20日	08:30	日 全国CPI	8月 3.0%	2.9%
	08:30	日 全国コアCPI	8月 2.8%	2.7%
	08:30	日 全国コアコアCPI	8月 1.6%	1.5%
	15:00	独 PPI(前月比/前年比)	8月 7.9%/45.8%	2.4%/36.8%
	16:30	典 リクスバンク政策金利	20-Sep 1.75%	1.50%
	21:30	米 住宅着工件数	8月 1575k	1450k
	21:30	米 住宅着工件数(前月比)	8月 12.2%	0.3%

【本日の予定】

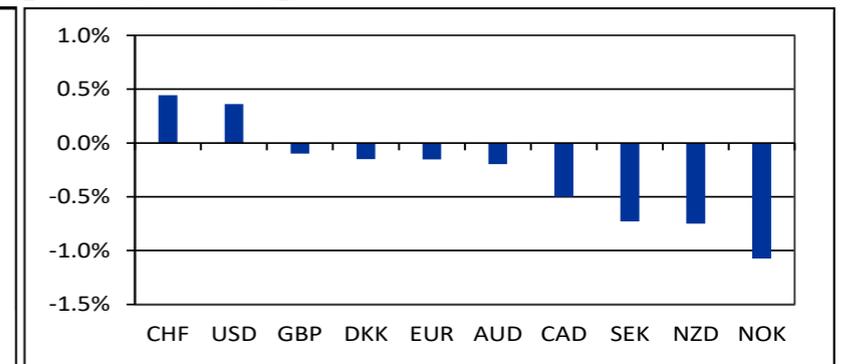
Date	Time	Event	予想	前回
9月21日	23:00	米 中古住宅販売件数	8月 4.70m	4.81m
9月22日	03:00	米 FOMC政策金利(下限)	21-Sep 3.00%	2.25%
	03:00	米 FOMC政策金利(上限)	21-Sep 3.25%	2.50%
	03:30	米 FOMC	-	-

東京	東京時間は143.15レベルでオープン。序盤はドル売り優勢で始まると143円台を割り込む展開となったが、同水準では買い戻しが入り143円台前半を推移。その後は米金利や日本株の底堅さを横目にドル円は143.44まで上昇し、143.29レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は143.29レベルでオープンし、米長期金利の上昇を眺めて一時143.81まで上値を切り上げた。143.62レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場では欧州の経常赤字が大きく膨らみ、ユーロ売りが強まったことや、スウェーデン中銀の予想75bpの利上げ期待に対し100bpの利上げが発表されたことから、米金利が上昇する動きに、ドル円は143.81まで上昇し、143.62レベルでNYオープン。朝方は米8月住宅着工件数が予想を上回ったことや、米金利が上昇する展開もあり、ドル円は143.92まで戻すが、午後は明日のFOMC結果発表を控え143.60付近での狭い値動きが続き、143.71レベルでクロスした。一方、海外市場でユーロ売りが強まり、上値の重いユーロドルは0.9988レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ0.9956まで下落するが、軟調に推移していた株式市場が下げ渋る展開に0.9999まで戻す。しかし午後はラガルトECB総裁は、「ECBは会合毎に金利を決定する」、「ECBはインフレ率を2%に戻すと決意」などの発言が伝わるものの、為替市場の反応は限定的となるが、軟調な株式市場が下げ幅を拡大させる中、上値を抑えられ再び0.9960まで下落し、0.9969レベルでクロスした。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	142.00-145.00	0.9800-1.0100	142.00-146.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は小幅に上昇。序盤に143円割れまで下落する局面も見られたが、その後は米金利や株式市場を眺めながら小確りとした推移。海外時間にはスウェーデン中銀が100bpsの利上げ(予想は75bps)を発表すると、米金利が上昇する中で143円台後半まで上昇。その後も市場予想を上回る米指標が発表される局面で143.92まで上値を伸ばした。終盤は翌日にFOMCを控えて143.60台を中心とした推移となった。
 本日のドル円はFOMC次第だが、ドル高への警戒が必要な局面を想定。海外時間にFOMCの発表を控える中で、発表前は動意薄の展開を想定。FOMCではインフレ抑制の姿勢を示し75bpsの利上げ発表がメインシナリオとなっており、個人的にもその予想に異論はない。しかし、米8月CPIにおいて前月比プラスの結果が出るなど物価上昇の懸念は引き続き燃えている中で、物価の安定化に向けてタカ派な発言/内容が確認される可能性もあろう。その場合はドル買いが強まる局面も想定されるため、ドル円については上昇リスクへの警戒が必要だと考えている。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:上野・西